

令和4年度 第2回 鳥取市生活交通会議
議 事 要 旨

1. 日 時 令和4年10月20日(木) 15:00~16:30

2. 場 所 鳥取市役所本庁舎7階 第2委員会室

3. 出席者 (下記のとおり)

○会 長	[学識経験者]	鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻教授	谷 本 圭 志
○副会長	[鳥取市]	都市整備部長	岡 和 弘
○委 員	[住民・利用者]	市小学校PTA連合会	藤 田 良 二
		市自治会連合会 (河原町, 用瀬町, 佐治町)	西 川 功 美
		〃 (気高町, 鹿野町, 青谷町)	地 原 伸
		市老人クラブ連合会 (旧鳥取市, 国府町, 福部町)	能 見 恵 子
		〃 (河原町, 用瀬町, 佐治町)	西 尾 寛 茂
		〃 (気高町, 鹿野町, 青谷町)	久 野 浩 太 郎
		市連合婦人会	外 山 照 野
	[事業者]	日ノ丸自動車株式会社 営業部次長	山 根 真 一
		日本交通株式会社 バス営業部次長	山 本 高 広
		西日本旅客鉄道株式会社 鳥取鉄道部運輸科長	谷 口 雅 則
	[事業者団体]	鳥取県ハイヤータクシー協会 副会長	岡 周 一
	[事業者労組]	私鉄中国地方労働組合日ノ丸自動車支部執行委員鳥 取分会執行委員	米 花 大 地
	[鳥取市]	福祉部長	竹 間 恭 子
	[中国運輸局]	鳥取運輸支局 首席運輸企画専門官	柏 木 実
	[警察]	鳥取警察署 交通第一課長	松 村 暢 英
	[鳥取県]	地域づくり推進部中山間・地域交通局地域交通政策 課長	野 坂 明 正
○事務局		鳥取市都市整備部交通政策課 (小森、筒井、有本 泉、有本淳哉)	

【欠席】1名 (委任状あり)

4. 次 第

- 1) 開会
- 2) 会長挨拶
- 3) 議事及び報告事項
 - 【報告1】神戸線、佐治線の運行ダイヤ見直しについて
 - 【報告2】交通空白地有償運送「さじ未来」のダイヤ変更等について
 - 【案件1】乗合タクシー「神戸線」の運行開始について
 - 【案件2】いきいき国英コミュニティバスの路線変更について
 - 【案件3】100円循環バス「くる梨」へのICOCA導入に伴う新料金体系について
- 4) その他
- 5) 閉 会

5. 議 事 概 要

【報告1】神戸線、佐治線の運行ダイヤ見直しについて

日ノ丸自動車株が運行している神戸線、佐治線の令和5年4月からのダイヤの見直し（減便）について内容の報告。

→日ノ丸自動車株が資料1に基づき説明した。

(質問・意見)

特になし。

【報告2】交通空白地有償運送「さじ未来」のダイヤ変更等について

【報告1】の減便を受け、ダイヤ、運行方法の変更内容について報告。

→特定非営利活動法人さじ未来が資料2に基づき説明した。

(質問・意見)

特になし。

【案件1】乗合タクシー「神戸線」の運行開始について

【報告1】の減便を受け、運行を開始する乗合タクシーの内容について協議。

→事務局が資料3に基づき説明し、合意された。

(質問・意見)

【会長】 小学生は何人いるのか。

【事務局】 約10～15名

【会長】 朝の登校に関しては日ノ丸自動車(株)運行の路線バスで対応可能であるが、下校に関しては人数、時間などにばらつきが出るが対応としてどうか。

【事務局】 10人乗りのタクシー車両を利用する予定なので下校時の対応も可能である。

【会長】 予定外の下校時間になった場合とか、行事などで、時間が不規則となることもあるのでは。

【事務局】 運行していただく「日ノ丸ハイヤー」と学校の方で連絡を取り合って、臨時便として車両を増やす等の対応をしていただく予定。

【案件2】 いきいき国英コミュニティバスの路線変更について

運行路線の延長及び、路線運行から区域運行に変更することについて協議。

→いきいき国英ふるさと協議会が資料4に基づき説明し、合意された。

(質問・意見)

【委員】 中学校まで延長されるとのことだが、利用される生徒数はどれくらいを想定しているのか。

【いきいき国英ふるさと協議会】

約5, 6人

【会長】 路線運行ではなく区域運行でいろいろな走り方をすることで利用者を増やすこともできるのでは。

【委員】 中学校での停車するバス停は決めているのか

【いきいき国英ふるさと協議会】

バス停は決めていない。中学校の前にある体育館の駐車場内を利用する予定である。

【案件3】 100円循環バス「くる梨」へのICOCA導入に伴う新料金体系について

令和5年4月のICOCA導入に伴い見直しをする料金体系の内容について協議。

→事務局が資料5に基づき説明し、合意された。

(質問・意見)

【委員】 「ICOCAにはポイントあり」、「バスICOCA定期券にはポイントなし」とはなにか。

【事務局】交通系ICカードは、ポイント付与が一般的。利用促進の意味で、ポイントをためて、現金にチャージし、連携するお店などで利用が可能となるシステムである。定期券についてポイントが付与されないシステムである。

【会長】 Suicaにもポイントはつくのか。

【委員】(JR) ポイントの付与率はまちまちだが、ポイントは付与されている。

(その他)

・委員からの意見

【委員（市内西地域在住）】

気高、鹿野では3,700円で定額制タクシーでの実証実験中である。定額制のタクシーについては料金が高いとの意見もある。将来、タクシー等の公共交通がなくなるのではとの危機感のない住民もいる。今後、地域ではどのような交通体系が良いのか進め方に悩んでいる。

【会長】 まずは事務局の意見を聞くこととする。

【事務局】公共交通の利用者は減っている。また、運転手不足という状況もあり、現在の路線を維持確保していくことが難しい状況となっている。鳥取市では令和元年度に「生活交通創生ビジョン」を策定し、路線の再編と、地域の実情にあった交通方法を導入していく取り組みを進めている。AIを利用した定額制タクシーの実証実験もこの取り組みの一つである。

その地域の実情に合った交通を、地域に出向き、地域の方のニーズを把握させていただいて、どういった交通が合っているのかというようなところを一緒になって検討させていただいている。

定額制タクシーの会費が高いとのことだが、そういったご意見や実証実験の結果をふまえ、その地域で、タクシーを維持していくのがよいのか、あるいは、別のサービスがよいのかを一緒になって検討していきたい。

そういった方向で、今、取り組みを進めているところである。

【会長】 路線バス（大量輸送向け）やタクシー等のビジネスで運行できているところはそれを継続していただければよい。もう一つは、地域活動として、移動支援とか、交通弱者を、何とかしたいというような活動は大事な灯火である。地域によってどの方法が合うかはまちまちである。

この会議の中でもそうであるように、いろいろと実験をしながら、どの方法がその地にあっているのか試行錯誤して進めていけばよいと思う。